

ご質問等への回答

視点や課題、公共施設の再編方針について

- 山田総合体育センターと山田総合グラウンドは、市の管理になってから受付方法や利用方法が分かりづらくなった。山田地域以外の利用者が多く、地域住民が予約できないことがある。優先的に利用できるような仕組みにできないものか。

【回答】

富山市の公共施設は市民の誰もが平等に利用できる施設であることから、山田地域の方のみを優先することはできませんが、お住まいの地域を問わず、利用者が使いやすくなるよう、インターネット予約などの手続きの周知を図ってまいります。

- 牛岳温泉スキー場の人工造雪機の修理費はいくらかかるのか。

【回答】

人工造雪機の機能等を完全に修繕するには、約1億2千万円の経費が追加で必要になります。

- 牛岳温泉スキー場についている予算の内訳はどうなっているのか。

【回答】

令和2年度の牛岳温泉スキー場特別会計の当初予算額は、156,525千円であります。歳入の主なものは、リフト使用料などの事業収入(100,000千円)のほか、一般会計からの繰入金などがあります。歳出の内訳としては、スキー場運営費として、人件費(34,067千円)、燃料費(圧雪車等)、電気料、修繕料(圧雪車、ナイター照明等修繕)、保険料(スキー場入場者保険料等)、委託料、借上料(スキー場用地借上料等)が主な項目となっています。

- 野外教育活動センターは呉羽青少年自然の家と類似施設であるが、野外教育活動センターの方が廃止が先であるのは何故なのか。

【回答】

ご質問のとおり、呉羽青少年自然の家は富山県の施設になります。一方で、今回の公共施設の再編は、県や民間施設等の市内に類似のサービスを提供する施設がある場合において、あくまでも富山市の公共施設がどうあるべきかという点に着目していることから、富山市の施設である野外教育活動センターについて再編方針をお示ししたものであります。

しかしながら、今後は県の類似施設の配置方針等も勘案し、今後の施設のあり方を検討してまいります。